

公開実用: 昭和60— 122420

B2

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60— 122420

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月17日

E 04 C 2/30

F-6730-2E

E 04 B 1/40

M-7228-2E

E 04 C 1/62

7904-2E

E 04 C 2/38

6730-2E

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 板体取付部の構造

⑯ 実 願 昭59-10346

⑰ 出 願 昭59(1984)1月27日

⑱ 考 案 者 空 岡 義 幸 豊中市新千里西町1丁目1番12号 ナショナル住宅産業株式会社内

⑲ 出 願 人 ナショナル住宅産業株式会社 豊中市新千里西町1丁目1番12号

⑳ 代 理 人 弁理士 宮 井 暎 夫

EV 907490422

明 細 書

1. 考案の名称

板体取付部の構造

2. 実用新案登録請求の範囲

取付基体と、板体と、両側片の少なくとも一方  
の対向内面に爪を突設しその両側片で前記板体の  
端部両面を挾持して爪を板体内部へ食い込ませた  
状態で一方の側片外面を前記取付基体に対接した  
コ字形補強材と、この補強材の両側片および前記  
板体に貫通して前記取付基体へ固着した固着具と  
を備えた板体取付部の構造。

3. 考案の詳細な説明

〔技術分野〕

この考案は、パネル表面板をパネル枠体へ固定  
する場合等に適用できる板体取付部の構造に関す  
るものである。

〔背景技術〕

従来の建築用パネルは、第1図に示すように、  
パネル表面板1の裏面端部をパネル外枠材2上に  
載置し、ビス3をパネル表面板1からパネル外枠

( 1 )

材 2 へねじ込んで組立てる。

- ・ ところが、パネル表面板 1 をビス 3 のみでパネ
- ・ ル外枠材 2 へ固定するため、パネル表面板 1 が面
- ・ 方向の外力 F を受けて第 1 図左方へ引っ張られる
- ・ と、ビス 3 が倒れたり、ビス部分でパネル表面板
- ・ 1 に亀裂が生じるという問題を有していた。

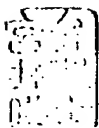
〔 考案の目的 〕

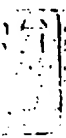
- ・ この考案の目的は、パネル表面板等の板体が面
- ・ 方向の外力を受けた場合でも、その板体固定用の
- 10 固着具が倒れたり、その固着具部分で板体に亀裂
- ・ が入ったりするのを防止できる板体取付部の構造
- ・ を提供することである。

〔 考案の開示 〕

- ・ この考案の板体取付部の構造は、取付基体と、
- 15 板本と、両側片の少なくとも一方の対向内面に爪
- ・ を突設しその両側片で前記板体の端部両面を挟持
- ・ して爪を板体内部へ食い込ませた状態で一方の側
- ・ 片外面を前記取付基体に対接したコ字形補強材と、
- ・ この補強材の両側片および前記板体に貫通して前
- 20 記取付基体へ固着した固着具とを備える。

( 2 )





この考案の一実施例を第 2 図に示す。この板体  
 ・ 取付部の構造は、第 2 図に示すように、パネル表  
 ・ 面板 4 を金属製溝形パネル外枠材 5 へ固定するの  
 ・ に適用したもので、ビス 6 の他に補強金具 7 を使  
 ・ 用する。

この補強金具 7 は、コ字形形状で、その両側片  
 ・ 7 a , 7 b の対向内面端部に爪 7 c を内向に突設  
 ・ し、その両側片 7 a , 7 b でパネル表面板 4 の両  
 ・ 面端部を挟持して爪 7 c をパネル表面板 4 に食い  
 10 込ませた状態で、一方の側片 7 b 外面をパネル外  
 ・ 枠材 5 の上面に対接する。そして、ビス 6 を補強  
 ・ 金具 7 の両側片 7 a , 7 b およびパネル表面板 4  
 ・ に貫通してパネル外枠材 5 へねじ込むことにより、  
 ・ パネル表面板 4 をパネル外枠材 5 へ固定する。

15 このように構成した結果、パネル表面板 4 が面  
 ・ 方向の外力 F を受けても、その荷重をビス 6 のみ  
 ・ ならず、補強金具 7 の爪 7 c によっても保持でき  
 ・ るため、外力 F に対する耐荷重強度を従来よりも  
 ・ 向上できて、ビス 6 の倒れや、ビス部分でのパネ  
 20 ル表面板 4 のクラック発生を確実に防止できる、

11      なお、上記実施例においては、爪70を両側片  
 ・ 7a, 7bに設けたが、爪70をいずれか一方の  
 ・ 側片7aまたは7bのみに設けるようにしてもよ  
 ・ い。また、爪70の形成位置も、両側片7a, 7b  
 5    の対向内面であれば、いずれの場所に設けてもよ  
 ・ い。

・      この考案は、上記のようにパネル表面板4をパ  
 ・ ネル外枠材5へ連結する場合に適用できることは  
 ・ もちろんのこと、それ以外にも板体を取付基体へ  
 10 連結する場合に広く適用可能である。

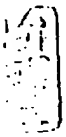
・      〔考案の効果〕

・      この考案の板体取付部の構造によれば、板体が  
 ・ 面方向の外力を受けた場合でも、固着具が倒れた  
 ・ り、その固着具部分で板体に亀裂が入ったりする  
 15 のを防止できるという効果が得られる。

・      4. 図面の簡単な説明

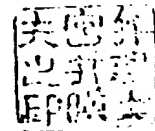
・      第1図は従来のパネルの断面図、第2図はこの  
 ・ 考案の一実施例の斜視図である。

・      4…パネル表面板(板体)、5…パネル外枠材  
 20 (取付基体)、6…ビス(固着具)、7…補強金



具、7 a、7 b ... 側片、7 o ... 爪

代 理 人 弁 理 士 宮 井 暎 夫



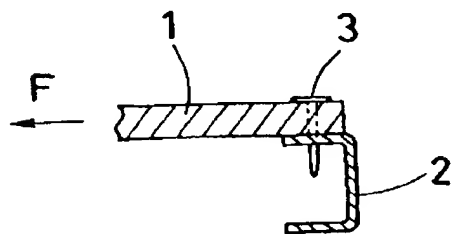
EV 907490422

10

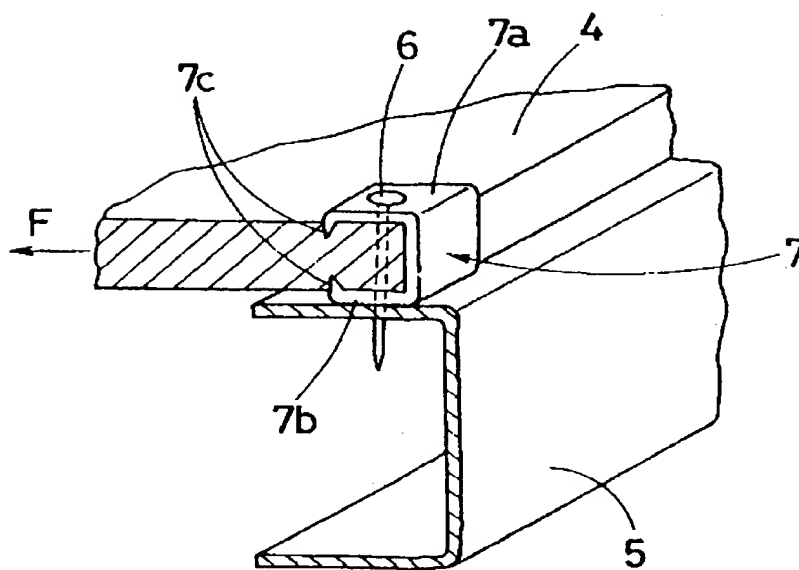
15

20

( 5 )



第 1 図



第 2 図

175

実開60-122420

弁理士 宮井 咲夫  
58-217B1599  $\frac{1}{1}$

EV 907490422

JP-U1-S60-122420

Japanese Utility Model Unexamined Publication No. S60-122420

Date of Publication: August 17, 1985

Application No. S59-10346

Date of Application: January 27, 1984

Inventors: Yoshiyuki Soraoka

Applicant: National Housing Industrial Co., Ltd.

Title of the Invention: STRUCTURE OF PLATE BODY MOUNTING PORTION

Claims:

1. A structure of plate mounting portion comprising a mounting base substance, a plate, a  $\sqcap$ -shaped reinforcing member having at least one of both side pieces provided with a claw protruded from at least one of inner surfaces thereof, an outer surface of one side piece contacting with said mounting base substance in a manner of the side pieces clamping both surfaces of an end portion of the plate while the claw bites thereinto, and fasteners passing through the both side pieces and said plate to fasten them to said mounting base substance.

Brief Description of the Drawings:

Fig. 1 is a sectional view of a conventional panel, and Fig. 2 is a perspective view of one embodiment of the present invention.

4 ... a panel surface plate (a plate), 5 ... a panel outer frame member (a mounting base substance), 6 ... a bis (fastener), 7 ... a reinforcing fitting, 7a, 7b ... a side piece, 7c ... a claw.

EV 907490422